

代表質問発言通告書

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和3年 2月17日

三島市議会議長 大房正治様

三島市議会議員 4 番 土屋 利絵



質問事項及び具体的内容
人も街も元気になる「スマートウエルネスシティ構想」を今こそ進化させていくために
スマートウエルネス、将来にわたって、人も街も健康で、幸せに生きていくことを最大のテーマに掲げた、壮大な三島市の街づくりに向けて、10年になります。その歩みを市民の方々と着々と進めてきている最中ですが、全国の例にもれず、ここ三島市においても、コロナ禍による経済危機が長期化の様相を呈し始めています。スマートウエルネスは、何も本当に元気なきばかりではなく、こんなときだからこそ、その真価が問われるのだと思います。地域経済や雇用、生活基盤の確保など、市民の方々の声なき声に配慮された、知恵が詰まった令和3年度予算案になっているか、質問します。
1、新型コロナウイルスへの対応について
(1) 感染防止対策の取り組みについて
(2) 保健所と保健センターの役割について
(3) 企業支援について
(4) 企業誘致について
(5) 市民の方々の声なき声に耳を傾けていくために
(6) 高齢者の生活支援に向けた、これからの地域包括ケアシステムの充実に向けて
(7) 経済的に困窮している方や、ひとり親世帯に対する支援のための予算措置について
(8) 子育て、困窮、介護相談の一本化、断らない相談に向けて
2、三島駅南口東街区再開発について
令和9年度の開業を目指して、三島駅南口東街区の再開発が進められています。私たちが忘れてはならないことは、ここを完成させることが目的ではないということです。今回の質問の大きなテーマである、乳幼児からお年寄りまですべての世代を元気にしていく広域健康医療拠点を目指しながら、人も街も元気になるスマートウエルネスシティ構想を実現していくためのフロントゾーンを創っていくことが目的です。そのような機能をもつことができるのでしょうか。
(1) 三島駅南口東街区再開発事業と、中心市街地活性化との連携について
(2) 導入機能、施設を決定していくためのプロセス、スケジュールなど
(3) 三島市の床取得の可能性について
(4) 最先端のウエルネスフロントづくりに向け、三島市と市民、民間とが話し合っていく体制づくりについて
(5) 三島市役所各課の包括的な連携について